

犯罪抑止に貢献 詐欺注意を呼びかけるメッセージ作成に協力 ボランティア部の高校1年生 「良い声質で伝える力」と推薦 緊張するも納得いくまで何回も録音

8/29(木) 10:24 配信



埼玉新聞



小鹿野署の佐藤忍署長（左）から感謝状を受けた小鹿野高1年山中隆総さん＝小鹿野署

犯罪抑止活動に貢献したとして埼玉県警小鹿野署は、県立小鹿野高校ボランティア部1年の山中隆総さん（16）に感謝状を贈呈した。山中さんは7月に、特殊詐欺の注意喚起を呼びかけるメッセージを自分の声で録音し、同署へ提供。音声は、警察車両の車載マイクに接続するなど、同署の啓発活動に広く活用されている。

[高3球児、飲酒運転の車にはねられ意識不明 搬送され意識戻らぬ日々 チーム仲間50人のビデオレターで…意識戻る](#)

生徒16人が在籍している同校ボランティア部は、エコキャップの回収や地域の美化活動などに力を入れている。「良い声質をもっていて、伝える力がある」と、部員らから推薦を受けた山中さんが今回、音声を担当した。

山中さんは、「詐欺の電話が多くかかっています」「留守番電話の設定を強くお勧めします」などのメッセージを、自分が納得するまで何回も録音し直した。「めったに経験できないことなので、相当緊張したが、自分の声に自信を持つことができた」と、山中さんは満足そうに語った。